

札幌 市民防災

第22号

令和2年3月31日
札幌市民防災団体連合会
発行責任者 田畑 隆二

令和元年度 札幌市防災表彰式・ 札幌市自主防災講演会

令和2年1月15日（水）ホテルモントレエーデルホフ札幌の13階「ベルヴェデーレ」にて令和元年度札幌市防災表彰式が開かれ町内会11団体に町田隆敏副市長から表彰状と、「地域における自主的防災活動にご貢献いただいた町内会など表彰している事を平成11年から行っており、現在までに市内226団体が受賞されております。地域の安全、安心を守っていただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。これまで積み重ねられてきた自主防災活動の更なる活性化と、誰もが、安全・安心に暮らすことができる地域づくりを進めていただくため、引き続き、ご協力くださいますようお願い申し上げます」とご挨拶いただきました。

式の後にはNPO法人日本トイレ研究所（東京）の加藤篤代表理事が講演されました。



地域でつくるまちづくり

札幌市民防災団体連合会 会長 田畑 隆二

日頃から、地域防災の向上に積極的に活動されている市民防災団体の会員の皆様には心から敬意を表します。

近年の我が国においては、今まで経験の無い大型の地震・台風・豪雨による災害が発生し多くの被害が出ています。

自然災害に対して日頃の備えや準備をし、地域防災災害力の更なる向上を進めて行くことが必要です。会員皆様それぞれの立場で地区防災計画の実施推進をすることが、町内会等の地域の安全・安心の住みよいまちづくりに貢献出来ると思われま。

今年は、北海道のみならず全国・全世界での新型コロナウイルスの感染者の急増が進んでいます。これも新たな自然災害と捉え、地域善意が行政から感染防止の指導を積極的に取り入れ、地域感染の増大を防がなければならないと思います。

今後も当会が、会員皆様に各種防災活動情報の発信や防災活動の一助なります様活動を進めて参ります。これからも、皆様の情報発信と活動のご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和元年度 札幌市防災表彰式

受賞団体出席者

中央区 上盤溪町内会	久保田 秀一 氏
中央区 盤溪下町内会	本間 正俊 氏
北区 新琴似西連合町内会	高橋 博章 氏
東区 鉄東地区安心安全なまち連絡協議会	新木 秀幸 氏
白石区 東米里町内会	千本 金屋 氏
厚別区 厚別西厚信会	井上 一弘 氏
豊平区 南平岸地区町内会連合会	末廣 仁志 氏
清田区 美しが丘式番街自治会	汐海 一義 氏
南区 藤野本通町内会	仙北 英治 氏
西区 発寒三条町内会	小山 秀昭 氏
手稲区 手稲曙連合町内会	丹伊田 和義 氏



防災意識向上と連携強化

美しが丘式番街 自治会 会長 汐海 一 義

この度、札幌市防災表彰団体に選出されたことに大変光栄に存じます。
 一昨年9月6日、北海道胆振東部地震で札幌市内はブラックアウトになり、当自治会にとって初めての経験でした。

当時、エレベーター停止、断水、室内ガラス散乱、タンス傾き、心は不安でした。

自治会はエレベーターに閉じ込められた人はいないか、独居高齢者の安否確認を早急に実施しました。

誰もが防災対策の必要性を痛感したところです。

そこで、当自治会は

- ・台風・地震・停電・断水等の災害時対応について
- ・災害時に備えた、「支えあい登録」の実施
- ・自主防災広報紙（式番街「防災情報」No.1～No.14）

などを作成配布し住民の不安解消に努めた。

さらに関係者の理解と協力を得ながら支えあい登録の整備を図っています。

自助、共助、公助を推進する中で、近隣町内会・自治会（5団体）との連携を図り共助目的で合同防災訓練を実施しています。

昨年、消防署と調整を進め近隣居住者150名を超える参加者によるハシゴ車を使つての避難訓練、救急訓練、消火訓練などを体験し、防災訓練の重要性を再確認しました。

今後も、多数の参加と協力を得て、防災意識の向上と充実を図っていききたいと思います。



東区鉄東地区における防災の取組について

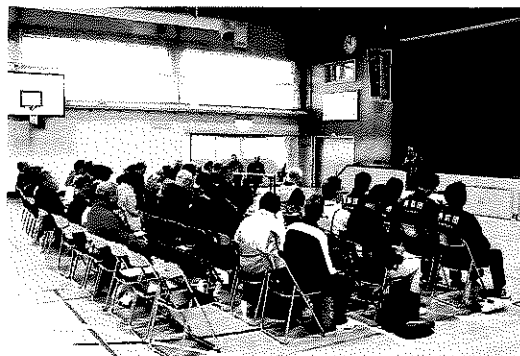
鉄東地区安心安全なまち連絡協議会 会長 新木 秀 幸

この度は、当協議会が札幌市防災表彰団体に選出されたこと誠に光栄に存じます。

当協議会は、東区鉄東地区の安心安全に関わる関係者及び団体が連携し、住民が日々安心して安全に暮らせるまちを実現することを目的として設立された団体です。現在は地域の町内会・自治会並びに防火、防災及び交通安全関係団体など合計48団体で構成されております。

当協議会の主な活動として、各町内会・自治会や団体が自ら安心安全なまちづくりを進めるための必要な情報の提供や研修を行っており、これまで、毎年、東区役所のご協力を得てDIG、HUG及び避難所開設訓練を実施してきました。令和元年度においては札幌市立苗穂小学校で避難所開設訓練を実施し、参加者は段ボールベッドの作成体験や学校内の防災物資保管場所確認を行い、災害発生時における共助の重要性について認識を新たにしたところです。

日頃の災害に対する備えの重要性が注目されている昨今ですが、当協議会は今後も東区役所をはじめとする関係機関のご協力を得ながら、平時からの災害に対する備えについて構成団体や住民に対して普及啓発を続けていく所存です。



令和元年度 札幌市自主防災講演会

講演：「安全で安心な避難生活をトイレから考える」

講師：特定非営利活動法人 日本トイレ研究所 代表理事

加藤 篤 (かとうあつし) 氏

日本トイレ研究所は、震災による被災地の方々の声を聞くことでトイレの問題の深刻さを学び、災害時に避難者がトイレに行く回数を減らすために飲食を控えることが体調不良につながっている事や「水や食料だけではなく、安全で清潔なトイレ確保も大切」であることを強調されておりました。

水洗トイレは、水道、電気だけではなく、汚水管、し尿処理などの下水道のすべてが機能してこそ成り立つ事のほか、身近な事についてもお話しされ、大変有意義な講演会でした。是非とも参加者だけでなく家族でお聞きしたい内容であり、帰ったら家族と今回のお話しをするとの声が聞かれ、多くの方々から大変良かったとの声がありました。



新型コロナウイルス感染症について

「市民の皆さまへ」と題し、秋元札幌市長から次のようなメッセージ（令和2年3月1日）がありました。

北海道知事からの「新型コロナウイルス緊急事態宣言」を受け、2月29日（土）に第4回札幌市感染症対策本部会議を開催しました。

ウイルス感染の特徴として、初期症状が普通の風邪と変わらないことから、感染の自覚のない場合もあるため、感染が広まっていると想定され、市民の皆さんには不要不急の外出や、人混みを避けて頂くことをお願いいたします。公共施設の臨時休館や一時開放の休止を実施いたします。

食料品やトイレトーパーなどの買い物のため、スーパー等に殺到しているとの報道がありますが、在庫や生産も充分であり、皆さんには冷静な行動をお願いします。手洗い等を徹底し、体温を測るなど健康管理に努め、発熱等のある場合は外出しないようお願いします。

コロナウイルスに関する不安や疑問の電話窓口と、発熱等の症状がある方の電話窓口が異なっておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

これ以上の感染拡大を防ぐために、札幌市としても最大限の取り組みをしているとのことですので、春も近づいて参りましたので、皆さんで協力し合いながら、新型コロナウイルスを追い払いましょう。

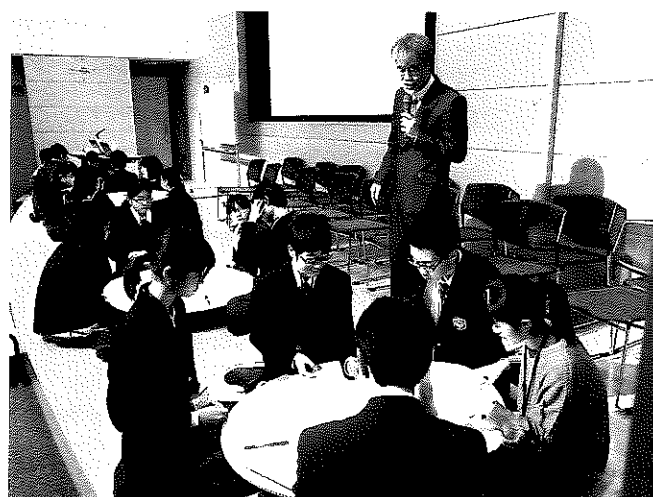
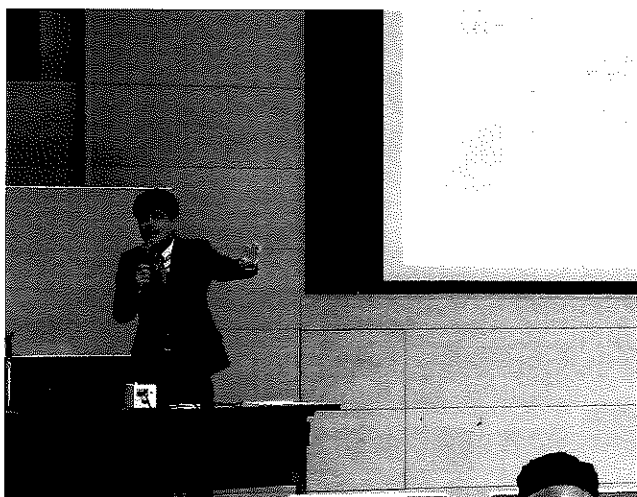
令和元年度札幌市防災教育セミナーの開催

令和2年1月8日(水)、札幌コンベンションセンターにおいて札幌市危機管理対策室と札幌市教育委員会の共催で「令和元年度札幌市防災教育セミナー」が開催され、約130人が参加しました。

最初に札幌市教育委員会の長谷川正人児童生徒担当部長から挨拶があり、令和2年度から、5つの学校において防災教育研究推進事業を始めたと説明がありました。

次に、防災学習アドバイザー・コラボレーターで、兵庫県立大学大学院特任教授などを務められている諏訪清二氏による防災講話『災害と向き合う』と、2つの公開授業『地震発生！危ない所を探そう』(小学生版)と『明日災害が発生！今日何する？』(中高生版)が、実際にステージ上で約40人の児童生徒に対して行われました。

兵庫県立舞子高校環境防災科で生徒達と向き合った講師の経験談に、参加者は真剣に耳を傾けていました。



編 集 後 記

令和時代に入り今迄体験したことのない、人命にかかわる大きな地球気候変化による台風で犠牲になり今だご不便な生活を送られている方々には心よりお見舞いを申し上げますと共に、今回は世界の各国で発生している「新型コロナウイルス」の感染拡大に多くの方が日々不安な生活を年齢に関係なく送っております事と思いますが来年7月23日開幕オリンピック迄には一日も早く終息してほしいですね。

世界各国の多くの選手に参加して頂くよう札幌市民として「マラソン札幌」開催には心のあたたまるおもてなしでお迎えしたいと思います。「コロナにはまけない札幌」市民日々お身体には十分気をつけましょう。

広報配布先 市長、副市長、各区総務企画課、消防署、まちづくりセンター、市民防災連
 合会加入団体、防災表彰受賞団体様

是非連合会にご加入して下さい 問い合わせ先

副会長 広報部長 渡辺 恵美子 FAX・TEL 011-851-9583番

印刷所 北晃社 齋加印刷所
 札幌市西区八軒1条東5丁目
 電話 011(631)1271